

《ベトナム》第14期内閣の陣容(上)

国家主席・首相・副首相の略歴

〔国家・政府指導部選出の経過〕

[2016年3月21日] ベトナム社会主義共和国第13期(2011-16年)第11回国会(最終会期)が開幕。新しい国家主席、国会議長、首相など国家・政府指導者の選出、および第14期内閣の閣僚など政府指導部の承認が下記の通り行われた。

*慣例では新しい国家・政府指導部は5月に実施される国会議員選挙後に開かれる第14期(2016-21年)第1回国会で選出・承認されるはずだが、今回は異例の3カ月前倒しでの指導部選出となった。

- [3月31日] グエン・ティ・キム・ガン国会副議長を新国会議長に選出。
- [4月2日] チャン・ダイ・クアン公安相を新国家主席に選出。
- [4月7日] グエン・スアン・フック副首相を新首相に選出。
- [4月8日] ダン・ティ・ゴック・ティン党中央事務局次長を新国家副主席に選出。

[4月9日] フック新首相が新内閣の閣僚名簿を上程。国会議員による各新任閣僚に対する信任投票の結果、いずれも賛成多数で承認されフック新内閣が発足。

[4月12日] 第13期第11回国会が閉幕。
 *国会組織法の規定では、国家主席・副主席、正副国会議長など国家機関の指導者、および首相は国会議員でなければならない。今国会で選出された各指導者が5月の国会議員選挙で当選しなかった場合は解任されることになる。また、政府組織法では、閣僚など政府構成員の任期は国会に準拠する。これらの規定から、3ヶ月前倒しで決まった今回の国家・政府指導部人事は7月に開催予定の第14期第1回国会で正式に確定する見通しである。

〔第14期内閣の概要〕

- 〈発足〉 [4月9日] (上述の通り)グエン・スアン・フック首相が上程した閣僚名簿を国会が承認。
- 〈任期〉 5年(2016年~2021年)
- 〈閣僚数〉 (首相を含み)計27人(うち女性1人=グエン・ティ・キム・ティエン保健相)
- 〈閣僚構成〉
- *党務による内訳：政治局員6人 中央委員(政治局員を除く)20人 非中央委員1人(=グエン・ティ・キム・ティエン保健相)

〔下記の略歴でカタカナ氏名の前に表示〕

- *年齢別内訳：60歳代5人 50歳代21人 40歳代1人。最年長は62歳(=グエン・スアン・フック首相、ゴ・スアン・リック国防相)。最年少は46歳(=レ・ミン・フン国家銀行総裁)。
- *出身地域別内訳：北部(西北部/東北部/红河デルタ)13人 中部(北中部/南中部/中部高原)11人 南部(東南部/メコンデルタ)3人
- *学歴別内訳：博士号13人 修士号9人 学士号5人
- *専門分野別内訳：経済関連17人 法律・政治・外交6人 国防・治安2人 物理1人 医学1人

〔国家元首〕

■国家主席 President

チャン・ダイ・クアン Tran Dai Quang



第13期第11回国会開催中の4月2日に現職(ベトナム社会主義共和国第6代国家主席)に選出(3月31日に国家主席からの退任が承認されたチュオン・タン・サン氏の後任)。ベトナム共産党(CPV)内の序列はグエン・フー・チョン書記長に次ぎ2位。

*旧・内務省時代から一貫して公安畑を歩み、公安省治安総局長、同省次官を経て2011年から(現職就

任まで)公安相を務めた。

*その能力が早くから党中央指導部で評価され、2011年1月に党政治局入りした時は最年少(当時55歳)の局員だった。人民軍の階級は大将であり、学歴では法学博士号を取得し教授の称号も持つ。流暢な中国語を話すことでも知られる。

▼データ：【党務】政治局員(序列2位)【年齢】59歳(1956年10月12日生まれ)【生地】(红河デルタ)ニンビン省キムソン県【人種】キン族【宗教】無宗教【学歴】 [1972年] 中央人民警察学校研修/ [75年] 内務省(現・公安省)文化外国語学院卒/ [86年] 公安大学卒/ [94年] ハノイ法科大学卒/ [97年] グエン・アイ・クオック政治学院終了(党高等政治理論課程)/公安大学法学博士/ [2003年] 准教授/ [09年] 教授【軍歴】 [2003年] 少将/ [07年] 中将/ [11年] 上将/ [12年] 大将【経歴】 [1975年] 内務省(現・公安省)第1政治防護局勤務(-81年)/ [78年] 第2政治防護局業務部副部長/ [82年] 同局副書記/ [87年] 同局業務部長/ [90年] 内務省治安総局党委員会副書記・公安参謀局副局長/ [96年] 公安省治安総局党委員会常任委員・参謀局局長/ [2000年] 同省治安総局党委員会書記・副局長/ [06年4月] 党中央公安常任委員・公安省次官/ [11年8月] (第13期内閣)公安相/ [16年4月2日] (第13期第11回国会)国家主席に選出(-現在)【信任率】91.5%【党歴】 [1980年] 入党/ [2006年] 中央委員(-現在)/ [11年1月] 政治局員(-現在)【国会議員】 1期目(第13期国会)

■国家副主席 Vice President

ダン・ティ・ゴック・ティン Dan Thi Ngoc Thinh



4月8日に現職(国家副主席)に選出。グエン・ティ・ゾアン(Nguyen Thi Doan)女史の後任(1987年に故グエン・ティ・ディン女史がベトナム初の女性国家副主席に就任して以来、5人連続で女性が同職に就くことになった)。

▼データ：【党務】中央委員【年齢】56歳(1959年12月25日生まれ)【生地】(南中部)クアンナム省【人種】キン族【学歴】 学士(法学・歴史学専攻)/政治学修士(党組織論)【経歴】 (メコンデルタ)ヴィンロン省党委員会副書記/ [2010年] 同書記/ [15年] 党中央委員会事務局次長/ [16年4月8日] (第13期第11回国会)国家副主席に選出(-現在)【信任率】91.1%【歴任】 ベトナム女性連合常任副議長【党歴】 [2011年] 中央委員(-現在)【国会議員】 2期目(第11/13期国会)

〔第14期内閣：閣僚データ〕

*2016年4月9日発足

〔凡例〕

- ・信任率：国会での内閣承認のための信任投票における各閣僚の得票率(議員総数=949人)。
- ・ベトナム共産党大会：第9回=2001年/第10回=2006年/第11回=2011年/第12回=2016年1月
- ・国会：第10期=1997年/第11期=2002年/第12期=2007年/第13期=2011年/第14期=2016年7月発足予定

■首相 Prime Minister

グエン・スアン・フック Nguyen Xuan Phuc



ベトナム社会主義共和国第7代首相。ベトナム共産党(CPV)内の序列はグエン・フー・チョン書記長、チャン・ダイ・クアン国家主席に次ぎ3位。第13期第11回国会で4月7日に選出(6日に首相からの退任が承認されたグエン・タン・ズン氏の後任)。ズン氏に近い改革派と目されているが、新指導部は慣例に従い党内保守派のチョン書記長、「公安官僚」出身のク

アン国家主席と同(フック)首相らを中心とする集団指導体制を取るため、政府が急激に改革路線に進むとの観測はなく、主要政策の変更もない見通し。率いる内閣も副首相以外の閣僚の約半分が次官からの昇格という実務重視の顔ぶれを揃えた。

*政府が優先的に取り組む課題として、(1)マクロ経済の安定と経済成長の促進、(2)行政改革と起業の奨励、人材の重用、(3)行政機関と社会での規律強化、(4)汚職・浪費抑制の強化、(5)独立・主権・領土の保全、(6)国民の物質的・精神的生活の改善と治安の確保、を挙げている。

[直接管掌する官庁・政府機関] 国防省、公安省、農業・地方開発省、国営通信社・放送局、南シナ海・離島指導委員会、国家教育評議会など。

▼データ：【党務】政治局員(序列3位)【年齢】61歳(1954年7月20日生まれ)【生地】(南中部)クアンナム省クエソン県【人種】キン族【学歴】[1978年] ハノイ国民経済大学(NEU)卒(経済学士：経済管理学)/国家行政学院行政管理学課程修了/シンガポール国立大学(NUS)留学(経済管理学)【経歴】(在学中)NEU党支部書記/[1978年] クアンナム=ダナン省(当時)経済委員会事務局勤務/[80年] 同省人民委員会事務局次長/同事務局局長/[93年] クアンナム=ダナン省計画投資局局長(96年)/[97年] クアンナム省党委常任委員/同委員会副主席/常任副主席・同省工業区管理委員会委員長/[99年] 同省人民委員会主席(2004年)/[2001年] クアンナム省党委副書記/[04年] 同省人民委員会主席(再任)(09年)/[06年] 政府監査院副院長/[2007年] 政府官房長官(閣僚)/[11年8月] 副首相/[16年4月7日] (第13期第11回国会)首相に選出(一現在)【信任率】90.3%【党歴】[1982年] 入党/[2006年] 中央委員(一現在)/[11年1月] 政治局員(一現在)【国会議員】2期目(第11/13期国会)

■常任副首相 Permanent Deputy Prime Minister

ブオン・ディン・フエ Vuong Dinh Hue



今年1月の第12回党大会で政治局入りしたばかりだが、今国会の閣僚人事では経済・財政を担当する現職(常任副首相)に任命された。5人の副首相の中では筆頭格。国家会計検査院長、財務相、党中央経済委員長と経済・財政分野の要職を歴任。

*【管掌官庁】計画投資省、財務省、国家銀行(中銀)、国家財政監視委員会、ベトナム開発銀行(VDB)など。【担当分野】マクロ経済、金融・証券市場、国営企業改革、二国間・多国間協定の交渉・実行管理など。

▼データ：【党務】政治局員【年齢】59歳(1957年3月15日生まれ)【生地】(北中部)ゲアン省【人種】キン族【学歴】ハノイ外国語大学卒(チェコ語学科)/(旧チェコスロバキア)プラスチラヴァ経済大学修士・研究生/[1990年] 同大学博士【経歴】ハノイ財政会計大学副学長/国家会計検査院副院長/[2006年] 同院長/[11年8月] (第13期内閣)財務相/[12年12月] 党中央経済委員長/[16年4月9日] (第14期内閣)常任副首相(一現在)【信任率】89.5%【歴任】ベトナム社会保険公社総裁/国家投資会社(SCIC)会長【党歴】[2006年] 中央委員(一現在)/[16年1月28日] 政治局員(一現在)【国会議員】1期目(第13期国会)

■副首相兼外相 Deputy Prime Minister & Minister of Foreign Affairs

ファム・ビン・ミン Pham Binh Minh



2011年に外相に就任、2013年から現職(副首相兼外相)。今国会で再任(留任)。今年1月の第12回党大会で政治局入り。米国の名門フレッチャー法律外交大学院で修士号を取得したエリート外務官僚で流暢な英語を話す。東西冷戦期に欧米諸国との関係改善では「開明的姿勢で知られた故グエン・コ・タク元外相(在任：1880~91年)の息子で、現政府内の「親米派」と目されている。

*【管掌官庁】外務省【担当分野】外交、政府開発援助(ODA)、二国間・多国間交渉、南シナ海・離島・国境関連問題、人権関連など。

▼データ：【党務】政治局員【年齢】57歳(1959年3月26日生まれ)【生地】(紅河デルタ)ナムディン省【人種】キン族【学歴】[1981年] ハノイ外交大学卒/(米)タフツ大学フレッチャー法律外交大学院修士【経歴】外務官僚/[1981年] 外務省外交官管理部事務官/[82年]

駐英大使館書記官/[86年] 同省官房管理官/[91年] 同省国際機関局副局長/[99年] 国連副代表/駐米大使館公使/[2003年] 同省国際機関局長代行、のち局長/[06年] 同省副次官/[07年] 同次官、のち筆頭次官/[2011年8月] (第13期内閣)外相/[13年11月] 副首相兼外相/[16年4月9日] (第14期内閣)副首相兼外相(再任：一現在)【党歴】[2009年1月] 中央委員(一現在)/[16年1月28日] 政治局員(一現在)【国会議員】1期目(第13期国会)

■副首相 Deputy Prime Minister

チュオン・ホア・ビン Truong Hoa Binh



前最高人民裁判所長官。現職(副首相)では法務を担当する。

*【管掌官庁】内務省、法務省、政府官房、政府監査院、民族委員会など。【担当分野】司法改革、汚職防止、犯罪取締り、密輸・不正取引防止・摘発、交通安全など。

▼データ：【党務】政治局員【年齢】61歳(1955年4月13日生まれ)【生地】(メコンデルタ)ロンアン省【人種】キン族【学歴】修士【経歴】ホーチミン市公安局副局長/ホーチミン市人民検察院院長/[2006年] 公安省次官/[07年] 最高人民裁判所長官/[16年4月9日] (第14期内閣)副首相(一現在)【信任率】89.5%【党歴】[2006年] 中央委員(一現在)/[11年] 中央書記(一16年1月)/[16年1月] 政治局員(一現在)

■副首相 Deputy Prime Minister

チン・ディン・ズン Trinh Dinh Dung



建設相から現職に昇格。地方の建設局長や建設省次官などを歴任した建設分野のテクノクラート。非政治局員。

*【管掌官庁】商工省、建設省、運輸省、天然資源・環境省など。【担当分野】工業・建設、海外直接投資(FDI)、エネルギー確保、経済区・工業団地、災害対策など。

▼データ：【党務】中央委員【年齢】59歳(1956年8月25日生まれ)【生地】(紅河デルタ)ヴィンフック省【人種】キン族【学歴】ハノイ建設大学卒/ハノイ外国語大学卒(ロシア語学科)/修士【経歴】ヴィンフック省建設局労働部長/同省建設局局長/[2001年] 同省人民委員会主席/[04年] 同省党委員会書記/[2010年5月] 建設省次官/[2011年8月3日] (第13期内閣)建設相/[16年4月9日] (第14期内閣)副首相(一現在)【信任率】81.8%【党歴】[2006年] 中央委員(一現在)【国会議員】元職(第11/12期国会)

■副首相 Deputy Prime Minister

ブー・ドゥック・ダム Vu Duc Dam



グエン・タン・ズン前首相の信頼が厚く、2011年に発足した第13期内閣で最年少閣僚(当時：48歳)ながら政府運営の実務を取り仕切る政府官房長官に抜てきされた。13年11月にファム・ビン・ミン外相(当時)とともに副首相に昇格。今国会で再任(留任)。非政治局員。

*【管掌官庁】教育・訓練省、科学技術省、保健省、文化・スポーツ・観光省、ベトナム科学技術研究所(VAST)、ベトナム国家大学、国家観光指導委員会など。【担当分野】教育・訓練、科学技術、労働・雇用、情報通信、文化・スポーツ、観光、医療・人口・家庭問題など。

▼データ：【党務】中央委員【年齢】53歳(1963年2月3日生まれ)【生地】(紅河デルタ)ハイズオン省【学歴】ベルギー留学(6年間)/博士【経歴】郵政・電気通信省郵政・電気通信総局国際科学技術協力局副局長/政府官房国際関係局副局長/政府官房アセアン局局長/(ポー・ヴァン・キエット)首相書記官/首相補佐官/郵政・電気通信省次官/(東北部)クアンニン省党委員会第一副書記/同省人民委員会主席/同省党委員会書記/[2011年8月3日] (第13期内閣)政府官房長官/[13年11月] 副首相/[16年4月9日] (第14期内閣)副首相(再任：一現在)【党歴】[2011年1月] 中央委員(一現在)

(アジア・リンケージ 勝田 悟)